

施策番号	1213		
施策名	障害のあるひととその家族を支えるサービスの充実		
概要	障害のあるひととその家族が安心して生活できるよう、多様なサービスを提供する。		
担当局	保健福祉局	共管局	なし
上位政策	121 すべてのひとが相互に支え合い安心してくらす		

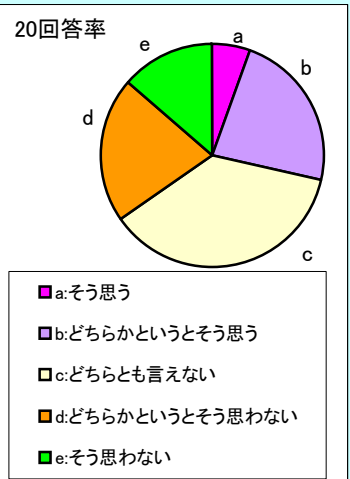
施策の評価

1 客観指標評価

	18年度	19年度	20年度評価				
			前回値	最新値	目標値	達成度	評価
1 日帰り介護（デイサービス）（箇所）	a	b	24	24	28	85.7%	c
2 ショートステイの利用可能人数（人分）	e	c	28	30	5人分増	40.0%	d
3 グループホームの定員数（人分）	b	d	389	410	54人分増	38.9%	d
4 居宅介護の延べ利用時間数（時間）	a	a	1,034,026.5	1,207,492.0	1,034,026.5	116.8%	a
5 -	-	-	-	-	-	-	-
6 -	-	-	-	-	-	-	-
7 -	-	-	-	-	-	-	-
8 -	-	-	-	-	-	-	-
9 -	-	-	-	-	-	-	-
10 -	-	-	-	-	-	-	-
	b	b	客観指標総合評価				c

2 市民生活実感評価

設問	障害のあるひとやその家族を支えるホームヘルプ（訪問介護）などのサービスが充実している。					
回答	18		19		20	
	回答者数	回答率	回答者数	回答率	回答者数	回答率
a: そう思う	22	4.3%	15	3.3%	40	5.6%
b: どちらかというと思う	107	21.1%	85	18.7%	166	23.1%
c: どちらとも言えない	167	32.9%	143	31.5%	263	36.6%
d: どちらかというと思わない	133	26.2%	115	25.3%	153	21.3%
e: そう思わない	79	15.6%	96	21.1%	97	13.5%
有効回答数	508		454		719	
市民生活実感評価	c		d		c	



* この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

3 総合評価（客観指標総合評価＋市民生活実感評価）

	18	19	20
客観指標総合評価	b	b	c
市民生活実感評価	c	d	c
総合評価	B	C	C
重み付け	(理由)		
<input checked="" type="checkbox"/> 客観指標 <input type="checkbox"/> 市民の実感	この施策は対象となる市民が限定されていることから、実績が市民の生活実感に反映されにくいことを勘案し、客観指標総合評価を重視する。		

4 原因分析・今後の方向性

市民生活実感評価は昨年度のdからcと上がったものの、客観指標総合評価が昨年度のbからcに下がったため、総合評価は昨年度に引き続きC評価となった。施策の利用は増加してきているものの、目標値には到達できない指標があったためである。また、障害者自立支援法の施行など、国の制度改正による市民の関心の高まりが、市民生活実感評価結果の上がった原因と考えられる。

今後とも、障害のあるひととその家族が安心して生活できるよう、国に対して必要な要望を行いながら、在宅での生活のための受け皿となるグループホームをはじめ、多様なサービスを提供していく必要がある。

(参考) この施策実現のための主な事務事業

	事業名	19年度予算 (千円)*	20年度予算 (千円)*	19年度事務事業評価に おける今後の方向性	担当部・課
1	重度心身障害者医療費支給事業	1,799,653	1,946,912	現状のまま継続	保健福祉局生活福祉部地域福祉課
2	吃音矯正訓練事業助成	486	486	現状のまま継続	保健福祉局保健福祉部障害保健福祉課
3	外国籍市民重度障害者特別給付金支給事業	28,531	29,125	現状のまま継続	保健福祉局保健福祉部障害保健福祉課
4	知的障害者相談員設置	4,288	4,725	現状のまま継続	保健福祉局保健福祉部障害保健福祉課
5	民間社会福祉施設単費援護	8,665	8,278	現状のまま継続	保健福祉局保健福祉部障害保健福祉課
6	醍醐和光寮建替整備事業	6,305	35,505	充実	保健福祉局保健福祉部障害保健福祉課
7	心身障害児(者)訪問療育指導事業	19,682	19,787	現状のまま継続	保健福祉局保健福祉部障害保健福祉課
8	在宅心身障害児(者)療育支援事業	18,237	18,995	現状のまま継続	保健福祉局保健福祉部障害保健福祉課
9	障害児通園(児童デイサービス)事業運営補助	31,633	30,441	現状のまま継続	保健福祉局保健福祉部障害保健福祉課
10	心臓障害児等母子通園療育事業	4,501	4,479	現状のまま継続	保健福祉局保健福祉部障害保健福祉課
11	心身障害児者レスパイトサービスモデル事業(元気家族リフレッシュサポート)	16,062	15,970	現状のまま継続	保健福祉局保健福祉部障害保健福祉課
12	点字図書給付事業	2,445	2,445	現状のまま継続	保健福祉局保健福祉部障害保健福祉課

13	重度身体障害者緊急通報システム貸与事業	8,347	8,241	現状のまま継続	保健福祉局保健福祉部障害保健福祉課
14	身体障害者福祉電話設置維持事業	10,761	5,867	縮小等による見直し	保健福祉局保健福祉部障害保健福祉課
15	障害児者ホームヘルプサービス（居宅介護従事者養成研修分）	1,062	1,062	現状のまま継続	保健福祉局保健福祉部障害保健福祉課
16	障害児者ホームヘルプサービス（家庭奉仕員）	300,697	300,697	現状のまま継続	保健福祉局保健福祉部障害保健福祉課
17	中途失明者巡回生活指導員派遣事業	31,138	31,648	現状のまま継続	保健福祉局保健福祉部障害保健福祉課
18	盲人日常用具購入資金貸付事業	1,175	1,175	現状のまま継続	保健福祉局保健福祉部障害保健福祉課
19	京都国際社会福祉センター運営補助	2,017	1,999	現状のまま継続	保健福祉局保健福祉部障害保健福祉課
20	訪問入浴利用助成	4,907	6,557	現状のまま継続	保健福祉局保健福祉部障害保健福祉課
21	就職支度金	1,656	1,656	現状のまま継続	保健福祉局保健福祉部障害保健福祉課
22	身体障害者福祉会館運営費	131,244	133,589	現状のまま継続	保健福祉局保健福祉部障害保健福祉課
23	聴覚言語障害センター管理運営委託費	89,588	90,002	現状のまま継続	保健福祉局保健福祉部障害保健福祉課
24	京都ライトハウス運営助成事業	148,329	130,477	効率化等による見直し	保健福祉局保健福祉部障害保健福祉課
25	身体障害者療護施設運営費補助	65,619	65,619	現状のまま継続	保健福祉局保健福祉部障害保健福祉課
26	盲人ホーム運営助成	8,460	8,320	現状のまま継続	保健福祉局保健福祉部障害保健福祉課
27	心身障害児者介護人派遣事業	279	279	現状のまま継続	保健福祉局保健福祉部障害保健福祉課
28	重症心身障害児（者）通園事業	91,588	89,144	現状のまま継続	保健福祉局保健福祉部障害保健福祉課
29	総合療育事業（児童療育センター管理運営等）	41,541	42,415	現状のまま継続	保健福祉局保健福祉部障害保健福祉課
30	精神障害者福祉ホーム	12,248	12,276	現状のまま継続	保健福祉局保健福祉部障害保健福祉課
31	精神障害者地域生活支援センター	120,816	124,356	現状のまま継続	保健福祉局保健福祉部障害保健福祉課
32	障害者地域生活支援センター運営事業	263,945	285,601	現状のまま継続	保健福祉局保健福祉部障害保健福祉課
33	在宅自立支援給付費	284,584	293,008	充実	保健福祉局保健福祉部障害保健福祉課
34	生活サポート事業	1,392	1,392	現状のまま継続	保健福祉局保健福祉部障害保健福祉課
35	知的障害者（児）福祉施設医療費負担軽減	18,892	10,997	現状のまま継続	保健福祉局保健福祉部障害保健福祉課
36	身体障害者リハビリテーションセンター附属病院	702,829	699,225	現状のまま継続	保健福祉局身体障害者リハビリテーションセンター

37	身体障害者リハビリテーションセンター 肢体不自由者更生施設	173,574	165,319	効率化等による見直し	保健福祉局身体障害者リハビリテーションセンター
38	身体障害者リハビリテーションセンター 更生相談所	50,973	49,903	現状のまま継続	保健福祉局身体障害者リハビリテーションセンター
39	京都市身体障害者リハビリテーションセンター 補装具製作施設	39,659	39,659	現状のまま継続	保健福祉局身体障害者リハビリテーションセンター
40	精神障害者保健福祉対策〔手帳の交付〕	60,352	60,352	現状のまま継続	保健福祉局こころの健康増進センター
合計		4,608,162	4,777,984		
うち、主たる事業の合計 (従たる事業の合計)		4,608,162 (0)	4,777,984 (0)		

* 予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含む

施策名	1213	障害のあるひととその家族を支えるサービスの充実
-----	------	-------------------------

指標名	日帰り介護（デイサービス）（箇所）	
-----	-------------------	--

担当課	障害保健福祉課	連絡先	222-4161
-----	---------	-----	----------

1 指標の説明

障害者デイサービスセンターの設置箇所数

2 指標の意味

障害のあるひととその家族を支えるサービス状況を示す指標

3 算出方法・出典等

当該施設（生活介護・地域活動支援センター（デイサービス））の設置状況

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	18年度	19年度		数値	根拠	達成度
数値	24	24	0箇所増	28	京都市障害者施策推進プランにおける数値目標を目標値とした。	85.7%

	全国順位	中長期目標			根拠
		数値	目標年次	達成度	
数値	-	28箇所	19年度	85.7%	「京都市障害者施策推進プラン」数値目標

備考	-
----	---

5 評価基準

単年度目標値に対する達成度が
 a：100%以上
 b：90%以上100%未満
 c：80%以上90%未満
 d：70%以上80%未満
 e：70%未満

6 基準説明

単年度目標値に対する達成度が100%以上をaとし、以下を5段階に基準設定した。

7 評価結果

18	19	20
a	b	c

指標名	ショートステイの利用可能人数（人分）	
-----	--------------------	--

担当課	障害保健福祉課	連絡先	222-4161
-----	---------	-----	----------

1 指標の説明

身体障害者及び知的障害者のショートステイの利用可能数

2 指標の意味

障害のあるひとやその家族が緊急時でも安心して暮らすことのできる環境を示す指標

3 算出方法・出典等

当該施設の利用可能数（精神，児童除く。）

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	18年度	19年度		数値	根拠	達成度
数値	28	30	2人分増	5人分増	中長期目標を達成するために必要な年間増加数を5人分とした。	40.0%

	全国順位	中長期目標			根拠
		数値	目標年次	達成度	
数値	-	-	-	-	-

備考	-
----	---

5 評価基準

目標値に対する達成度が
 a：目標値を超えて6人以上の増加
 b：目標値達成
 c：目標値未満の3人以上の増加
 d：目標値未満 1～2人の増加
 e：現状のまま

6 基準説明

プランでは、プラン策定時（14年度完了時）の利用可能人数と目標数との差24人分を、5年間で整備することとしており、そのために必要な年間増加数5人分増を目標値（b評価）とし、目標値を超える場合をa、目標値未満3人以上の増加をc、1～2人増をd、現状維持をeと設定した。

7 評価結果

18	19	20
e	c	d

施策名	1213	障害のあるひととその家族を支えるサービスの充実
-----	------	-------------------------

指標名	グループホームの定員数（人分）	
-----	-----------------	--

担当課	障害保健福祉課	連絡先	222-4161
-----	---------	-----	----------

1 指標の説明
グループホーム・ケアホーム・福祉ホームの入居可能数

2 指標の意味
障害のあるひとの社会参加や自立促進の機会の確保状況を示す指標

3 算出方法・出典等
当該施設の入所可能数

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	18年度	19年度		数値	根拠	達成度
数値	389	410	21人分増	54人分増	中長期目標を達成するために必要な年間増加数を54人分とした。	38.9%

	全国順位	中長期目標			備考
		数値	目標年次	達成度	
数値	-	468人分	19年度	87.6%	-

根拠 「京都市障害者施策推進プラン」に掲示

5 評価基準
目標値に対する達成度が
a：目標値を超えて81人以上の増加
b：目標値達成（54人～80人）の増加
c：目標値未滿（28～53人）の増加
d：目標値未滿（1～27人）の増加
e：現状のまま

6 基準説明
プランでは、プラン策定時（14年度完了時）の定員数と目標数との差267人分を、5年間で整備することとしており、そのために必要な年間増加数54人以上増をbとし、81人以上増をa、28～53人増をc、1～27人増をd、現状維持をeと設定した。

7 評価結果

18	19	20
b	d	d

指標名	居宅介護の延べ利用時間数（時間）	
-----	------------------	--

担当課	障害保健福祉課	連絡先	222-4161
-----	---------	-----	----------

1 指標の説明
身体障害者、知的障害者、精神障害者及び児童の居宅支援のうち、居宅介護等の利用時間数の合計

2 指標の意味
障害のあるひとの在宅での生活を支えるサービスの利用量を示す指標

3 算出方法・出典等
居宅介護に係る支援費支給時間数の合計（17年度まで、身体、知的、児童）
居宅介護等に係る利用時間数の合計（18年度から、精神含む。）
出典：障害者支援費利用月別統計表（介護給付）、地域生活支援事業国庫補助金実績報告（移動支援）

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	18年度	19年度		数値	根拠	達成度
数値	1,034,026.5	1,207,492	173,465.5時間減	1,034,026.5	過去3年間の最高値	116.8%

	全国順位	中長期目標			備考
		数値	目標年次	達成度	
数値	-	-	-	-	障害者自立支援法の施行に伴い、居宅介護は3障害一本化された。

5 評価基準
最新の数値が
a：過去3年間の最高値以上
b：過去3年間の上中間（最高値と平均値の間）
c：過去3年間の平均値以上上中間未滿
d：過去3年間の下中間（平均値と最低値の間）
e：過去3年間の下中間未滿

6 基準説明
利用時間数は年度によりある程度変動することがあることから、一定安定的な数字と比較する必要があるため、過去3年間の数値をもとに基準を設定した。
⑱ 1,034,026.5時間（最高値）
⑰ 1,000,235時間
⑰ 820,301時間（最低値）
平均値 951,521.5時間

7 評価結果

18	19	20
a	a	a